

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2015年度第9回常任委員会 議事録

- 1 日時：2015年12月17日(木)午後3時40分～午後5時40分
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室

3 出席者の確認

常任委員総数7名のうち、常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：木山 啓子

NGOユニット：橋本 笙子

外務省：関 泉（国際協力局民間援助連携室長）

経済界：斎藤 仁

学識経験者：石井 正子

代表理事：有馬 利男

事務局長：飯田 修久

オブザーバー

外務省：上村 修司（民間援助連携室）

PWJ：山本 理夏

AAR：名取 郁子

議長は、常任委員会規約の第3条により事務局長が務める旨を確認した。

4 第一部：審議事項

- (1) 第一号議案：第8回常任委員会議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

- (2) 第二号議案：アフガニスタン・パキスタンプログラム方針について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。但し、継続性・連結性を追記すること。

- (3) 第三号議案：事業終了に伴う「返還金分割払い申請」について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

- (4) 第四号議案：イラク・シリア人道危機対応計画に基づくコンセプトノート審査結果について
- 審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

計算方式については承認。但し、補正予算額が明確化した時点で見直しを行うこと。

5 第一部：報告事項

(1) 財務状況の報告

事務局より、「11月度の財務状況」について報告した。

(2) 国際NGOと福島の話タイム（12/11）の報告

事務局より、「国際NGOと福島の話タイム」（12/11）について報告した。

(3) アフガニスタン・パキスタン支援、確かに届けた5年間の歩み（12/15）の報告

事務局より、「アフガニスタン・パキスタン支援、確かに届けた5年間の歩み」（12/15）について報告した。

(4) 加盟団体の退会

事務局より、公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパンが12/31付で退会する旨、報告した。

(5) JVOAD全国大会への対応について

事務局より、JVOAD（全国災害ボランティアネットワーク）準備会「全国フォーラム」へのJPF対応（主催の参加団体として関わり、分科会を協働して企画する）について報告した。

6 第二部：審議事項

(1) 第一号議案：ネパール中部地震被災者支援2015にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

① RJP：ネパール中部地震の被災地における安全な出産と新生児の生存のための保健医療支援（民間支援金）

不承認。

(2) 第二号議案：イラク・シリア難民・国内避難民支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

① IVY：イラク共和国エルビル県キャンプ外シリア避難民への越冬支援と生活物資配布事業（政府支援金）

条件付き承認。

- ・ベースラインサーベイと比較し、どの程度の変化が見られたかモニタリングで確認のこと。

(3) 第三号議案：南スーダン緊急支援2014にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

① AAR：カクマ難民キャンプにおける中等教育環境改善およびライフスキル向上支援（政府支援金）

再提出。

② PWJ：ジュバ国内避難民とホストコミュニティ支援（政府支援金）

条件付き承認。

- ・これまでの継続性の観点に鑑み、コンポーネント①、及び③の中の衛生教育に絞る。

③ WVJ：エチオピア南スーダン難民キャンプでの教育環境整備事業（フェーズ4）（政府支援金）

承認。

7 書面による報告

(1) NGOユニットおよび事務局より、書面をもって以下を報告した。

- ① NGOユニットからの報告
- ② 「共に生きる」ファンド第26回収支報告書調査結果
- ③ 事業計画変更の報告
- ④ JPF事務局審議結果の報告
- ⑤ 固定資産処理の報告
- ⑥ 終了報告書審議結果の報告

(2) 次回の開催日時と会場について

会場をJPF事務局とし、以下の日程で常任委員会を開催することを確認した。

2015年度第10回常任委員会： 2016年1月26日（火）16時より 麴町GN安田ビル4F

2015年度第11回常任委員会： 2016年2月24日（水）16時より 麴町GN安田ビル4F

2015年度第12回常任委員会： 2016年3月25日（金）16時より 麴町GN安田ビル4F

以上